



守屋多々志作
百人一首 麩城名月

大垣市議会だより

発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-47-8073

大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

<インターネットURL>
大垣市議会 検索

第2回市議会定例会
令和8年度一般会計補正予算などを可決

第2回市議会定例会を6月1日から16日までの日程で、開催しました。

初日に、大垣市副市長の選任についてなど2議案を先議した後、市長から令和8年度一般会計補正予算など12議案について提案説明を受けました。

8日には、12名の議員が、福祉・獣害対策・防災・教育・まちづくり等に関して市政全般にわたる一般質問を行い（2～3面に掲載）、条例1議案を追加上程し、11日から15日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

16日の最終日には、各委員長が審査結果の報告を行い、市長提出議案11議案を可決しました。また、議員提出議案として、「安定的な皇位継承に係る国会議論促進を求める意見書」を可決し、閉会しました。

定例会日程

- 6月1日 本会議（提案説明）
- 8日 本会議（一般質問）
- 11日 建設産業委員会
- 12日 教育福祉委員会
- 15日 総務環境委員会
- 16日 議会運営委員会
本会議

大垣市議会役員名簿

5月7日に開会された第2回臨時会において、次のとおり決定しました。

議会三役		
議長	近 沢 正	
副議長	不 破 光 司	
監査委員	関 谷 和 彦	

常任委員会		
総務環境委員会（定数8名 現在数7名）		
委員長	長谷川つよし	副委員長 中田としや
委員	小 原 一 喜	委員 宮 脇 ち え
委員	安藤よしひろ	委員 不 破 光 司
委員	川 上 孝 浩	

教育福祉委員会（7名）		
委員長	種 田 昌 克	副委員長 梅崎げんいち
委員	はんざわ多美	委員 近 沢 正
委員	空 英 明	委員 関 谷 和 彦
委員	粥川加奈子	

建設産業委員会（7名）		
委員長	田 中 孝 典	副委員長 本田ゆみこ
委員	小 田 環	委員 日比野芳幸
委員	岩 井 哲 二	委員 石川まさと
委員	林 新太郎	

議会運営委員会（7名）		
委員長	空 英 明	副委員長 安藤よしひろ
委員	種 田 昌 克	委員 梅崎げんいち
委員	はんざわ多美	委員 関 谷 和 彦
委員	長谷川つよし	

特別委員会		
市民病院に関する委員会（5名）		
委員長	川 上 孝 浩	副委員長 小 田 環
委員	種 田 昌 克	委員 関 谷 和 彦
委員	長谷川つよし	

大垣公園等再整備に関する委員会（6名）		
委員長	日比野芳幸	副委員長 小 原 一 喜
委員	宮 脇 ち え	委員 本田ゆみこ
委員	近 沢 正	委員 田 中 孝 典

補正予算
【一般会計】

可決された主な議案

◇高齢者のインフルエンザ予防接種事業について、令和8年度から75歳以上の希望者に対し、発症予防効果の高まりが期待される高用量ワクチンが使用可能となったため、接種費用の増額分として4100万円を計上。
◇市内に工場を新設・増設した事業者に対する雇用促進事業補助金について、雇用人数が増加する見込みの届出を受けたため、増額分として450万円を計上。

条例等

◇大垣市国民健康保険条例の一部改正について

◇大垣市介護保険条例の一部改正について

国民健康保険料及び介護保険料の普通徴収の仮算定の廃止、及び納期の変更に伴い、所要の改正を行うもの。
◇財産の取得について
大垣競輪場の再整備に伴い、自動発払機13台等、及び情報サーバー等一式を購入するもの。

◇大垣市非常勤消防団員等損害補償条例の一部改正について
非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、葬祭補償の額の改定を行うもの。

意見書（文面は4面に掲載）

◇安定的な皇位継承に係る国会議論促進を求める意見書

第70回記念大垣花火大会



7月25日(土)、第70回記念大垣花火大会が揖斐川河畔で華々しく開催され、多くの観客を魅了しました。歴史資料館として整備された墨俣一夜城の天守閣の夜空にも大輪の花火が咲きました。今年の大河ドラマ「豊臣兄弟!」にも登場して注目を集めた墨俣地域にぜひお出かけください。

写真：墨俣一夜城（歴史資料館）越しに望む花火＝長良川左岸から撮影

2次元コードから各議員の一般質問の動画をご覧ください。

一般質問

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを各議員が市に対して質問しました。その内容の一部を紹介します。

国民健康保険について

中田 としや

質問…国民健康保険料の引き上げが続いている。国保事業会計の繰越金を活用し、市独自の負担軽減策を検討してはどうか。

答弁…国民健康保険制度は、少子高齢化や医療費の増大、物価高騰などにより、財政運営が一層厳しさを増している。本市の加入世帯は自営業者や退職者が多く、少人数世帯が全体の9割を占め、年金受給世帯が最も多くなっている。また、加入世帯全体の約54%が保険料の軽減を受けている。

令和6年度末時点で、国保事業会計の基金残高は約3億9000万円、繰越金は約11億円となっているが、繰越金については、災害や所得の急激な変動等により保険料の収納率が悪化した場合の財源不足や保険料の急激な上昇を抑制するために活用する。

県が進める令和11年度の保険料水準の統一に向けた動きの中で、減免基準の統一化も図られる方向にあることから、市独自の減免制

度を創設することは制度の趣旨に沿わないと考える。

水害対策について

粥川 加奈子

質問…必要量を自由に持ち出せる土のうの提供やボランティアの派遣など、個人・法人を問わず、災害時の支援の充実を求める。

答弁…近年、台風や線状降水帯による浸水被害が全国的に頻発化、激甚化しており、本市でも令和6年8月の台風第10号接近に伴う大雨で赤坂地区を中心に浸水被害が発生した。こうした事態を受け、市では浸水センサーの設置や排水機場・排水路の改修など総合的な治水対策を進めている。

令和7年度から申請不要でいつでも持ち出せる土のうステーションを市内8カ所に設置しており、個人・法人を問わず10袋まで利用できる。また、事前に連絡がある場合は別途提供している。さらに、被害の状況に応じて社会福祉協議会と連携して災害ボランティアセンターを開設し、個人や法人の要請に基づき支援を実施する。

引き続き、自助・共助を基本に、被災者に寄り添った支援体制の充実に努めていく。

岐阜朝鮮学園の3市に対する補助金の多重申請について

小田 環

質問…同学校法人は同じ領収書で複数市に補助金を申請した。返還請求の予定と、他市と重なる補助金不正受給の再発防止策を求める。

答弁…岐阜朝鮮初中級学校による補助金の多重申請については、同校への聞き取りの結果、担当者の認識不足による旨の説明を受けているが、関係市と連携し、慎重に調査を進めている。調査結果を踏まえ、返還請求を行う場合の根拠や金額・時期など適切に判断する。再発防止策として、全庁に補助金執行の適正化に関する通知を発出し、領収書・契約書等による支出事実の確認や国・県・他市町村等からの重複受給、補助額の適正確認を徹底するよう周知した。不正受給による補助金の返還に伴う加算金制度を含め、不正行為の抑止に実効性のある仕組みを検討していく。

ツキノワグマによる人身・生活環境等の被害防止について

梅崎 げんいち

質問…ツキノワグマ総合対策市町村支援補助金を活用

し、熊の捕獲や出没防止対策、人材の育成を進めてはどうか。

答弁…近年、ツキノワグマなどの危険鳥獣が人に危害を及ぼす事例が全国各地で増加している。本市でも5月に赤坂町地内で捕獲され、その後も目撃情報があり、警察と連携し、付近のパトロールや学校施設などへの注意喚起、周辺自治会への班回覧を行っている。

今年度、県が新設したツキノワグマ総合対策市町村支援補助金の積極的な活用については、捕獲体制の整備として、市有害鳥獣捕獲隊の初動対応力を高めるため、AI搭載カメラなど先進技術を導入する。また、出没防止対策として、県や専門機関と連携し、出没箇所や移動ルート・生息域の調査・分析を進め、緩衝帯整備を推進する。専門人材の育成については、銃器使用に関する訓練費用の補助制度を導入し、捕獲者の技術力向上と担い手の負担軽減を継続的に支援していく。

地域防災を支える排水機場について

安藤 よしひろ

質問…激甚化する豪雨災害に備え、排水機場の維持管理の状況を伺う。また、施設環境の改善や運転手の確保、今後の整備方針を伺う。

答弁…豪雨災害から市街地や農地を守るため、雨水を河川に強制的に排出する施設として、国・県管理の水門川排水機場と市管理31カ所の排水機場を設置しており、毎月設備点検を実施して適切な運用に努めている。

排水機場の運転手は94人の地域の皆さまにご協力いただいているが、担い手の確保が深刻な課題であり、流域自治会や農業団体等への呼びかけ、報酬の見直しや事業者への委託、無人化などの検討を進めている。また、運転手の意見をもとにスポットクレーラーの設置や、施設更新時にエアコン・洋式トイレの導入を標準化し、快適な職場環境の確保に努めている。

今後、大垣市第3次治水10か年計画に基づき、老朽化した施設の改築や設備更新を計画的、継続的に推進していく。



雨水を河川へ排出する雨水ポンプ(笠木排水機場)

学校における水泳授業の在り方について

小原 一喜

質問…施設の老朽化や教職員の負担軽減、猛暑による環境の変化等を踏まえ、今後の水泳授業の在り方と民間活用について伺う。

答弁…水泳授業は、近年の猛暑による中止や、児童生徒数の減少に伴いプールの稼働率が低下しているほか、日常の管理業務が教職員の負担となっており、早急に検討を進める必要がある。

水泳授業の民間委託は、気温や天候に左右されず、専門インストラクターによる指導の質の向上が期待できる有効な選択肢である一方、施設への移動手段や授業時間の調整などの課題もある。

今後の方向性として、複数校でのプールの共同利用や公営プールの活用など地域の実情を考慮した計画により、施設の廃止も視野に、原則として大規模改修や更新は行わず、将来の財政負担の縮減に努めていく。

また、現在、民間事業者へ聞き取りを行うとともに、授業の確保と費用対効果の両面から検討を進めており、モデル事業等を通じて成果と課題を検証し、授業の在り方を明らかにしていく。

ドローンを中心にした
大垣市成長政策の
実現について

田中 孝典



質問…国はドローンの社会実装を進めており、産業や防災、定住促進など多面的な効果が期待されている。市の現状と方針を伺う。

答弁…国がドローンなど無人飛行機の社会実装を推進する中、市はスマートシティ推進計画にドローンの活用を位置づけており、橋梁や建築物の点検業務に活用している。また、消防団が2機を所有し、有事に備え毎月飛行訓練を行っているほか、非常用物資の搬送を想定した飛行訓練や、被災箇所の情報収集を目的に空撮訓練を実施した。

民間事業者との連携として、これまでに2団体2企業と災害時の支援に関する協定を締結し、上石津地域にはドローンスクールが開校され、講習が行われている。このほか、農薬・肥料散布での活用、クマの追い払いや監視サービスの提供など実用化、製造・活用に向けた動きも広がっている。今後も、国・県の動向を注視しつつ、民間事業者と連携を強化し、ドローンの活用を通じて市民生活の向上と地域産業の発展に取り組んでいく。

電子投票の導入に
ついて

種田 昌克



質問…タブレット端末を使用する電子投票は、投票環境改善や開票事務効率化に有効と考えるが、導入の可能性や課題について伺う。

答弁…電子投票は、タブレット端末などを操作して投票を行う仕組みで、条例の制定により自治体が導入できる。

導入効果として、候補者の書き間違いなどによる無効票がなくなるほか、高齢者や障がいのある方が投票しやすくなり、投票機会が広がるなど大きな意義がある。一方で、システムの安定稼働や投票データの正確性確保など技術的検証が必要となる。

また、現状、国政選挙は適用されず、選挙の種類により投票方法が異なることから混乱が生じる恐れがある。さらに、現在の選挙執行に追加の経費が伴うため、人員削減効果が期待される一方、費用対効果を見極める必要がある。

市選挙管理委員会では、機器操作のデモンストレーションを実施して理解を深めたところであり、引き続き、先進自治体の視察や情報交換を通じ、調査研究を進めていく。

発達性読み書き障害
(ディスレクシア)
について

宮脇 ちえ



質問…小学生の7〜8%にディスレクシアが存在するとされている。適切な支援で困難を軽減できることから、現状と支援体制を伺う。

答弁…ディスレクシアは、全体的な知的発達に遅れはないものの、文字の読み書きに特異的な困難を示す学習障害で、他の発達上の困難さと重複することが多く、単独での判定・把握が難しい特性がある。今年度、読み書き等に困難を抱える児童生徒は84人で、通級指導教室で週1時間程度、個別指導を行っている。

日常の学習では、タブレット端末の活用により、記述に代えてキーボードによる入力や、音声読み上げ機能等を活用して文字の認識を支援するとともに、教育支援ソフトの導入や教員への研修を実施している。また、個々に応じた適切な支援が充実するよう、市独自の組織であるスマイルサポートチームを設置し、保護者からの相談受付や教育・医療・福祉等の関係機関が緊密に連携を図っている。今後も全ての児童生徒が共に学び合える学習環境の充実に努めていく。

ガキペイについて

本田 ゆみこ



質問…ガキペイカードの利用状況、プレミアム付商品券をアプリに限定した理由と応募状況を伺う。今後は紙版の発行も要望する。

答弁…大垣市版デジタル地域通貨「ガキペイ」により、国の交付金を活用した家計支援の事業を展開している。ガキペイカードの利用状況は6月1日現在、約63%で、カードが約40%、アプリが60%の割合となっている。

プレミアム付商品券発行事業は額面総額5億円・プレミアム率25%とし、抽選倍率は約1・72倍となった。紙版の商品券との併用については、本事業がガキペイアプリの普及を通じた事業者への支援として消費喚起による地域経済の活性化に加え、市民サービスのDX化推進を目的の一つとしているため、現時点で実施する予定はない。

今後も「ガキペイ」を活用し、地域経済の活性化や市民生活の利便性向上に努めていく。



「ガキペイカード」の利用期限は、**8月31日**です。
お早めにご利用ください。



介護保険の認定調査事業について

はんざわ 多美



質問…想定より低い判定が出た場合、再認定を望む声がある。1カ月以内の変更申請件数と適正な判定結果につながる改善策を伺う。

答弁…要介護認定は、利用者が適切な介護サービスを受けるための重要な仕組みである。訪問調査結果と主治医の意見書をもとに行う一次判定、医療職等により構成される介護認定審査会での二次判定を経て最終決定される。判定基準は全国共通であり、調査項目が市独自に厳しくなっていることはない。令和7年度、申請から結果が出るまでの平均日数は約37日、認定調査件数6380件のうち、認定から1カ月以内の変更申請件数は148件であった。認定で最も重要なことは利用者の実態が正確に認定審査会へ伝わることであり、一次判定前に市の専門職が調査票の内容確認を行うほか、調査員への継続的な研修、審査会委員間の情報共有や研修を通じて、判定の公平性と認定精度の向上に取り組んでいる。



※自治体DXについて

長谷川 つよし



質問…本市はスマートシティ推進計画のもと自治体DXを積極的に進めてきたが、これまでの取り組みの効果と今後の課題を伺う。

答弁…市は、スマートシティ推進計画を策定し、自治体DXを積極的に推進している。電子申請システムや生体認証の導入など先進的な取組により、市民サービスの向上や内部業務の効率化を図っている。計画の中間評価では、主な取組の約8割が実施・着手済みで順調に進捗しており、ペーパーレス化やスマート窓口、AI活用を重点分野に位置づけ、全庁一体となって取組を進めている。また、来年度末までに行政手続のオンライン化率50%以上の達成を目標に掲げ、押印廃止や添付書類の簡素化、業務フローの見直しを一体的に推進し、「行かないで済む市役所」の実現を目指している。

一方で、業務改善を担う職員の育成やシステム運用経費の最適化が課題であり、計画的な人材育成と業務プロセスの継続的な見直し、導入効果の検証を通じて持続可能なDX推進体制を構築していく。

※自治体DX…行政手続きのデジタル化や行政内部のデータ連携などを通じて住民の利便性向上と業務効率化を図るもの。

意見書

第 2 回定例会で可決された意見書は次のとおりです。
意見書は国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係機関に送付し、実現を要望しました。

安定的な皇位継承に係る国会議論促進を求める意見書

悠仁親王殿下におかれましては、令和 7 年 9 月、秋篠宮皇嗣殿下以来40年ぶりとなる男性皇族として成年式を迎えられ、9 月 6 日の「加冠の儀」をはじめとする、成年式関連の諸儀式及び諸行事が滞りなく執り行われたことは、誠に慶賀に堪えないところである。

また、悠仁親王殿下には、令和 6 年 7 月、秋篠宮皇嗣同妃両殿下と共に第 48回全国高等学校総合文化祭御臨席のため本市を御訪問いただき、上皇上皇后両陛下におかれても、平成24年12月に奥の細道むすびの地記念館を御視察いただいた。多くの市民が真心を込めてお迎え申し上げ、地域にとって極めて意義深いものとなったことは言うまでもなく、皇室の御存在は、本市だけではなく、全国民にとって欠かすことのできない、非常に重要なものとなっている。

悠仁親王殿下は、皇位継承順位第 2 位であり、やがて皇位を御継承になられることが想定され、今後しばらくの間、皇位は安定していると考えられる。しかし、皇族数の減少問題からも、現状の皇室制度のままでは、必ずしも安定的な皇位継承がなされるとは言い難く、将来的な皇統の安定実現が危惧される。

政府から国会に安定的皇位継承に係る検討の要請がなされてから、既に 4 年が経過している。安定的な皇位継承のため、皇族数の確保はまさに喫緊の課題であり、我が国の根幹に関わる極めて重要な事柄である。

よって、国におかれては、安定的な皇位継承に向けた国会における議論を早急に進め、一刻も早くその総意を取りまとめるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 8 年 6 月16日

大 垣 市 議 会

議会の ICT 化に関する委員会

議会運営の効率化・活性化を図るため、タブレット端末やペーパーレス会議システムを活用しています
さらなる ICT 化を目指し、引き続き研究していきます。

委員長

長谷川 つよし

副委員長

宮 脇 ち え

委 員

安藤よしひろ

委 員

種 田 昌 克

委 員

不 破 光 司

委 員

中 田 としや

委 員

関 谷 和 彦

議会だより編集委員会

年4回発行する議会だより
に、市民の皆さんからのご意見やご要望をいただきながら、より良い紙面づくりに努めてまいります。

委員長

空 英 明

副委員長

安藤よしひろ

委 員

本 田 ゆみこ

委 員

種 田 昌 克

委 員

梅崎げんいち

委 員

関 谷 和 彦

委 員

長谷川 つよし

◆市議会だよりのご感想をお寄せください。

市議会だよりをより良い紙面とするため、皆さまのご意見やご感想をお寄せください。

①郵 送

〒503-8601大垣市丸の内 2 丁目29番地
大垣市議会事務局あて

②電子申請

右記のQRコードをスマートフォン等で読み取り、専用フォームからご入力ください。

功績をたたえ永年在職議員表彰を伝達

去る6月1日、定例会の開会前に、全国市議会議長会の永年在職議員表彰の伝達がありました。

◇一般表彰 議員15年以上 長谷川つよし議員

令和8年第2回臨時会 議案審議結果一覧

全会一致で可決・同意・承認された議案

議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
議第46号	大垣市行政財産の目的外使用に係る使用料徴収条例の一部改正について	報第 6 号	専決処分の報告並びにその承認について
議第47号	大垣市監査委員の選任について	報第 7 号	専決処分の報告並びにその承認について
報第 5 号	専決処分の報告並びにその承認について		

令和8年第2回定例会 議案審議結果一覧

全会一致で可決・同意された議案

議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
議第48号	令和 8 年度大垣市一般会計補正予算(第 2 号)	議第56号	市道路線の認定について
議第49号	大垣市職員の分限に関する条例の一部改正について	議第57号	市道路線の廃止について
議第50号	大垣市税条例の一部改正について	議第58号	大垣市副市長の選任について
議第51号	大垣市国民健康保険条例の一部改正について	議第59号※	大垣市農業委員会委員の任命について
議第52号	大垣市介護保険条例の一部改正について	議第60号	大垣市非常勤消防団員等損害補償条例の一部改正について
議第55号	損害賠償の額の決定について	※林議員、岩井議員除斥 除斥…議会における審議を公正なものとするため、一定の利害関係がある議員は、その審議に参加できないこと。	

賛否が分かれた議案			議会内統一会派														議会内統一会派								
議案番号	議 案 名	議決結果	大垣市議会自由民主党緑風会											市議会公明党		自 民 党		民 主 党		日 本 共 産 党		市 民 ネット		維 新 の 会	
			議長	近 沢 正	空 英 明	種 田 昌 克	林 新 太 郎	石 川 ま さ と	日 比 野 芳 幸	田 中 孝 典	長 谷 川 つ よ し	関 谷 和 彦	不 破 光 司	安 藤 よ し ひ ろ	梅 崎 げ ん い ち	宮 脇 ち え	川 上 孝 浩	岩 井 哲 二	粥 川 加 奈 子	小 原 一 喜	は ん ざ わ 多 美	中 田 と し や	本 田 ゆ み こ	小 田 環	
議第53号	財産の取得について	可決	／	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
議第54号	財産の取得について	可決	／	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
市議第 2 号	安定的な皇位継承に係る国会議論促進を求める意見書	可決	／	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○		

○＝賛成、×＝反対、欠＝欠席 議長は採決に加わらないため、斜線としています。

(議員定数22人 現在数21人)

◆本会議の傍聴のご案内

次回定例会は9月上旬に開会予定です。
本会議の傍聴を希望される方は、市庁舎 8 階傍聴席入り口にて受付簿に必要事項の記入をお願いします。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

◆一般質問の録画放映（ケーブルテレビ）

大垣市議会では、市民の皆さまに議会活動への理解を深めていただくため、各定例会（3月、6月、9月、12月）の一般質問を大垣ケーブルテレビ(11ch)による録画で放映しています。
次回の放映は、9月中旬を予定しています。放映日については、市議会HPでご確認いただくか、または電話（直通:47-8073）で、お問い合わせください。

◆本会議・委員会の会議録がご覧いただけます。

本号に掲載された質問・答弁の詳しい内容は、図書館、市政情報コーナー、市議会ホームページなどでご覧いただけます。
(発行・掲載予定 8 月下旬)